



(3) 県負担・補助率の考え方

医療法に基づく、医療機関の使用前検査や立入検査等において必要である。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
備品購入費	2,695	電離箱式サーベイメータ7台の調達
合計	2,695	

**決定額の考え方**

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

医療法第25条や第27条に基づく医療機関への立入検査や使用前検査において、エックス線装置の適切な管理体制を確認する必要がある。

(2) 国・他県の状況

(3) 後年度の財政負担

次年度以降、年1回以上の校正を行っていく。

(4) 事業主体及びその妥当性

医療法第25条や第27条に基づく医療機関への立入検査や使用前検査の実施主体は、都道府県及び保健所を設置する市（特別区）と定められており、県で維持管理を行う必要がある。

# 事業評価調書（県単独補助金除く）

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか  
 線量測定機器の整備、定期的な点検・校正を行い、正確な放射線の線量漏洩確認を実施できるよう維持管理する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	R2年度	R3年度	R4年度	終期目標	達成率
	(R)	実績	目標	目標	(R)	
①	/	/	/	/	/	%
②	/	/	/	/	/	%

○指標を設定することができない場合の理由

線量測定機器の維持管理を行うものであり、指標設定はそぐわない。

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。                  医療機関への立入検査や使用前検査等において、県内7保健所（岐阜市除く）で放射線の線量漏洩の確認するため、年間30回程度使用。</p>
令和3年度	<p>令和5年度当初予算にて追加</p> <hr/> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%</p>
令和4年度	<p>令和6年度当初予算にて追加</p> <hr/> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%</p>

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<p>・ <b>事業の必要性</b>（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断）  <small>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</small></p>	
(評価) 2	<p>線量測定機器（電離箱式サーベイメータ）は、医療機関への立入検査や使用前検査等において、放射線の線量漏洩の確認等に必要であり、維持管理の必要性は高い。</p>
<p>・ <b>事業の有効性</b>（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか）  <small>3：期待以上の成果あり                  2：期待どおりの成果あり                  1：期待どおりの成果が得られていない                  0：ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価) 2	<p>線量測定機器（電離箱式サーベイメータ）の整備、点検・校正により、機器の必要な精度を保つことができ、医療機関の検査を行う上で有効である。</p>
<p>・ <b>事業の効率性</b>（事業の実施方法の効率化は図られているか）  <small>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</small></p>	
(評価) 2	<p>複数台まとめて整備することで得られるスケールメリットにより、費用を抑制できる。</p>

### (今後の課題)

<p>・ <b>事業が直面する課題や改善が必要な事項</b>                  線量測定機器の測定精度を常に保つ必要があるため、定期的な機器の買い替え、点検・校正を行っていく必要がある。</p>
---

### (次年度の方向性)

<p>・ <b>継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</b>                  線量測定機器（電離箱式サーベイメータ）は、医療機関への立入検査や使用前検査等において、放射線の線量漏洩の確認等に必要であり、今後も定期的に点検・校正等を行っていく。</p>
---

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	【○○課】
<p>組み合わせる理由や期待する効果など</p>	